



12月リーゴ上小田井保育園だより



急に寒くなった今年の冬。木枯らしが吹く中で子どもたちは元気に遊んでいます。幼児さんたちは、「氷鬼する人」とみんなに呼びかけています。お友だち関係も広がりが出てきました。今まで、社会全体がコロナ感染対策をしていたおかげで流行しなかった溶連菌感染症、アデノウイルス感染症、インフルエンザなどが一斉に猛威を振るい始めました。子どもたちも生まれてから罹ったことがない子が多く、免疫もないので発症してしまう子が多くいます。園内で流行を小さく抑えるように職員一同気を付けていきますので、保護者の皆様のご協力を賜りますようお願い致します。

先日はお忙しい中、個人懇談会に来ていただきありがとうございました。また、運営委員の保護者の方からの貴重なご意見を頂きました。皆様から伺ったご意見を参考に保育を進めていきたいと思えます。気になることがありましたら、いつでも職員までお声がけください。

一般財団法人 こども財団
リーゴ上小田井保育園
園長 小山 邦子
NO.100

12月の予定



- ・12月 4日（月）～12月 8日（金） 身体測定
- ・12月 15日（金） 避難訓練
- ・12月 22日（金） クリスマス会

さくらんぼ組・ゆず組・もも組は、10時から園児さんと職員で行います。
つばめ・うずら・ひよこ組は、16時より保護者さん参加で行います。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。会場の準備もありますので**参加ご希望の方は、12月15日（金）までに担任にお知らせください。**詳しい内容については、後日お知らせいたします。

- ・12月 29日（金）～1月 3日（水） 年末年始のためお休みします。

お知らせ

・皆様にご協力頂きました『赤い羽根の共同募金』（5,214円）を愛知県共同募金会名古屋西区支部に納めました。ご協力ありがとうございました。

お願い

- ・年末年始のお休みの前に籠の中にある衣類の持ち帰りをお願い致します。衣類のサイズ、名前が記載されているかどうかお確かめのうえ、お洗濯して年明けにお持ちください。
- ・保育園には、絵本の貸し出しコーナーがあります。ご家庭で読まなくなったので保育園に寄贈してもいいよ・・・という絵本がありましたら保育園までお持ちください。

インフルエンザに気を付けて

感染した場合は、発症後最低5日間かつ解熱した後3日経過し、医師の許可が出るまで登園停止となります。治って登園される時には、『感染症罹患後の保護者の登園届』の提出が必要となりますので職員までお尋ねください。インフルエンザの予防には、『手洗い・うがい・睡眠・バランスのよい食事』はもちろん『こまめな換気』『お部屋の湿度を60%くらいに保つ』などが効果的です。

【主な症状】

- ・突然の高熱
- ・全身症状（頭痛・筋肉痛・関節痛・全身の倦怠感など）
- ・呼吸器症状（咽頭痛・鼻汁・咳）

クラスの様子

もも組

音楽が好きなもも組さん。保育者に童謡絵本を持ってきて『歌って』とお願いしたり、CDの音楽が聞こえてくるとリリリで身体を揺らしたり、手を叩いたりご機嫌な姿がとても可愛らしい子どもたちです。お友だちの姿にもどんどん興味が高まってきていて、泣いている子を見ると心配そうに顔をのぞき込んだり、よしよし・・・と頭を撫でてあげたり、『どうぞ』と玩具を渡してくれたりコミュニケーションを取れるようになってきました。お友だちと一緒に過ごす楽しさを感じていけるように関わりを見守っています。寒さも本格的になってきますが、体調の変化に留意して過ごしていきたいです。

ゆず組

風が冷たくなってきましたが、お外で遊ぶことが大好きなゆず組さん。天気の良い日は公園や広場、上小田井駅などたくさん散歩に行くことができました。友だち同士「手を繋ごう」と誘い、仲良く歩いています。どんぐりや落ち葉など秋の自然にもたくさん触れることができました。自分でやってみようという気持ちも増えてきて、ズボンや靴、靴下などの着脱を頑張っています。まだまだ1人では難しいところもありますが、手伝いながらも自分でやろうとする気持ちを大切に見守ってきたいと思います。

さくらんぼ組

寒くなって防寒着を着る機会が多くなり、自分で着脱しようと意欲的なさくらんぼ組さん。自分で着ようとするのはもちろんですが、脱いだジャンパーをロッカーの洗濯バサミで留めようと頑張っています。また、お散歩で長い距離を歩けるようになり、平塚公園や高田公園で遊べるようになっていきます。歩きながら近所のお家のみかんやきんかん、柿をみんなで見たり、平塚公園でたくさんの落ち葉を集めて降らせて大はしゃぎしたりと、秋の自然を満喫しています。最近は「雪がふったら、雪をボールにしてあげるの」「パパとママと雪であそぶの」と雪の話をしながらワクワクしている子どもたち。冬の寒さや冷たさも楽しみながら、元気に12月を過ごしていきたいと思えます。

食育だより

11月14日(火)と11月20日(月)に、つばめ組の子どもたちと『切り干し大根作り』とその切り干し大根を使用してみそ汁作りをしました。14日は、天候も良く大根を干すには丁度いい日でした。14日から20日のみそ汁作りの朝まで干しかごに入れて、しっかりと太陽の光をあてて切り干し大根を作りました。切り干し大根を作るとき、調理室で使用している電動スライサーを調理員がサポートしながら使って、一人ずつ大根を千切りにしました。初めは緊張していましたが、徐々に慣れてきて最後は、楽しそうに電動スライサーを使っていました。出来た千切り大根を実際に触ってもらったところ子どもたちは「冷たい」や「なんかベトベトする」と話していました。大根を干しているところを、うずらやひよこ組の子が不思議そうに見ていると「これはね、つばめ組のみんなでやったんだよ」と説明してくれていました。20日は、いよいよみそ汁作りです。かつお節を使って出汁を取りました。沸騰したお湯の中にかつお節を入れるとかつお節の香りがしてきてみんなは「おー！いいにおい！」や「お湯の色が変わった！」と大興奮でした。出来上がったみそ汁を見て「ラーメンみたい」と呟いた子もいました。自分たちで作ったみそ汁は、とても美味しかったみたいで「おいしい！」と嬉しそうに食べていました。切り干し大根は、天日干しにすることでうま味や栄養が凝縮され、カルシウムや鉄分などが生の大根に比べて増えます。また、食物繊維も豊富で便秘の解消につながると言われています。切り干し大根は、江戸時代から作られていた歴史の長い食べものです。リーゴ上小田井保育園でも給食によく出ます。ご家庭でも簡単に作れます、子どもと一緒に作ってみるのも楽しいと思えますよ。



ひよこ・うずら・つばめ組

お散歩しやすい季節になり、どこに行くかの予定を予めみんなで相談しあってからお散歩に出掛けています。公園につくと赤や黄色の落ち葉をたくさん集めて葉っぱのベッドやソファーをつくり大胆に寝転がったり、どんぐりやまつぼっくりなど木の実をたくさん集めたりと秋の自然を存分に堪能しながら戸外あそびを楽しんでいます。

ひよこ

風が強く肌寒い日もありますが、元気いっぱい戸外あそびを楽しんでいます。最近はそのり滑りや泥団子作りがブームのようで、園庭の山に登り何度もそのり滑りを楽しんでいます。でこぼこしている所は砂を足したり、滑りやすいようにスコップで地面を滑らかにしてから滑ったりと工夫しながら楽しんでいます。泥団子づくりでは初めはお兄さんお姉さんにやり方を教えてもらったりサラサラの砂を分けてもらったりしていましたが、繰り返す遊びの中でコツを掴み、園庭に出るとサラ砂づくりに必要な道具を持ってきて真剣に取り組む姿がみられます。「また明日やろう」と大事にとっておいて「きれいなのできたよ」と嬉しそうに見せてくれる姿がとても可愛らしいです。

うずら

園庭では泥団子づくりやリレーあそびを楽しんでいます。リレーでは自分たちでチームを決めて、大縄跳びの縄をゴールテープにしたり、フラフープをバトンがわりにしたりと親子で運動を楽しむ会の時を再現しながら、お山の周りを順番に走って楽しむ姿がみられます。先日つばめ組さんが年長プロジェクトでお出かけしている日はうずら組さんが中心となって何をしておそぶかを決めてくれました。粘土、トランポリン、鉄棒、跳び箱などやりたいことがたくさんあったのでどうかと悩んでいると、「先に鉄棒とトランポリンして、(時計の針が)6になったら他のことやろうか」と提案してくれたり、「こうやってやるんだよ!」と鉄棒のやり方をひよこ組さんに教えてくれたりする子もいました。普段つばめ組さんがどのようにしているかをよく見ていて、ひよこ組さんをリードしてくれる姿がとても頼もしく、つばめ組さんへの憧れや期待が日に日に大きくなっているなあと感じました。

つばめ

週に1度、お味噌汁の出汁や味付け前の野菜などの味見をするお味見当番を行っています。当番の子が一口食べると「どんな味?」「みせて!」とひよこ組さんやうずら組さんも興味津々です。はじめはみんなの前に立つと緊張してしまったり、味の感想を上手く伝えられなかったりする子もいましたが、徐々に慣れてきて、「おいしい」「これはちょっと苦手かも...」と率直な感想をみんなに伝えてくれています。「明日は僕の番だよ!」と前日から楽しみにして、「早く次の当番を決めなきゃ」と積極的に取り組んでいます。自分の思いをみんなの前にたって発表することで、同じものを食べても"甘い"、"苦い"など人それぞれ感じ方が違うことを知ることもできるともよい経験だなと思うので今後も楽しみながら続けていきたいと思っています。